

子供の読書活動推進に関する有識者会議 論点まとめ（概要）

平成30年3月

第1章 子供の読書活動に係る現状と課題

現状

- ・ **社会構造，雇用環境の急速な変化**
→ 予測困難な時代への対応が求められる
- ・ **情報化社会の進展**
→ 多様な情報へのアクセスが容易化する一方、視覚的な情報と言葉の結び付きの希薄化



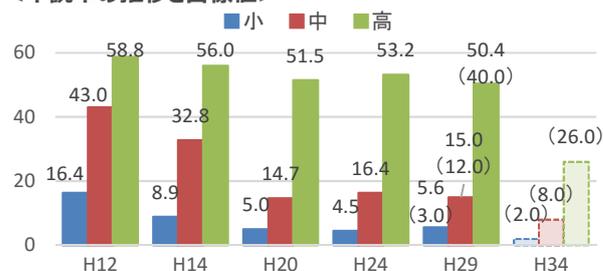
- ・ **読書活動の重要性の高まり**
精査した情報を基に自分の考えを形成し表現するなどの「新しい時代に必要となる資質・能力」の育成に資する

課題

- ・ 引き続き，**不読率^(※1)の改善**を図る必要
- ・ **高校生の不読率**については，改善傾向にあるものの，**目標^(※2)達成には遠い状況**

(※1) 不読率：1か月に一冊も本を読まない子供の割合。
(※2) 第三期計画で掲げた目標。下図（ ）に記載。

<不読率の推移と目標値>



第2章 課題の分析と取組の方向性

- ・ 読書を行っていない高校生は，**中学生までに読書習慣が形成されていない者**と，高校生になって読書の関心度合いが低くなり本から遠ざかっている者に大別されると考えられる
→ **発達段階に応じた取組による読書習慣の形成，読書への関心を高める取組**の充実が必要
- ・ **スマートフォンの普及等**による子供の読書環境への影響の可能性
→ **実態把握・分析等**を行う必要

第3章 具体的な取組

以下のような取組が求められる。

① 国，都道府県，市町村の役割

- ・ **計画策定・見直し**を引き続き進める（都道府県は市町村に対し支援，助言も行う）
- ・ 学校・図書館・民間団体・民間企業等，様々な機関と**連携**し，各種取組を充実・促進
- ・ 国は，**情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響**に関する**実態把握・分析**を行う

② 発達段階に応じた取組

- ・ 読書習慣の形成に向けた，**発達段階ごとの効果的な取組**の推進
乳幼児期：絵本や物語を読んでもらい，興味を示すようになる 等
小学生期：多くの本を読んだり読書の幅を広げたりする読書 等
中学生期：内容に共感したり将来を考えたりする読書 等
高校生期：知的興味に応じた幅広い読書 等
- ・ 上記の特徴を踏まえ，**家庭，地域，学校等**による連携した取組の推進

③ 子供の読書への関心を高める取組

友人同士で本を薦め合うなど，**読書への関心を高める取組**の充実
(読書会，図書委員，「子ども司書」，ブックトーク，書評合戦(ビブリオバトル)等の活動)

④ 民間団体の活動に対する支援

民間団体やボランティアの取組の周知による，ネットワークの構築，情報交流や合同研修等の促進

⑤ 普及啓発活動

「子ども読書の日」(4月23日)，優れた取組の奨励(表彰等)